

事業所名

多機能型事業所コーラル（児童発達支援）

支援プログラム

作成日

2025年

2月

1日

法人（事業所）理念		法人： 「障害・病気のある子、個性のありあまる子を 地域の宝に」「愛媛だから「できない」状況を作らない！愛媛だからこそ「できる」社会を実現する！」 事業所：「ひとりひとりが輝きつづけられる居場所」					
支援方針		「笑顔あふれる場として」：ひとりひとりの笑顔のために、こどもとご家族がいつでも安心して過ごすことができる「つながり」を作る。 「わたしらしくを大切に」：ひとりひとりの願いや幸せと一緒に見つけ、『やりたいことチャレンジする』『会いたい人に会う』をサポートする。 「わくわくどきどきの体験を」：日常にあふれたたくさんの遊びや少しの背のびをしてチャレンジできる体験の機会を通して、子どもたちの成長をサポートする。 「地域で生きる仲間」：障がいのある人もない人も共に学び育ちあえる社会を作る。					
営業時間		10時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">なし</span>
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・一人ひとりに合った食事形態や姿勢等の支援と食事の介助、胃ろう、経鼻からの注入を行います。また、睡眠、排泄等の日常生活の支援を行います。・リラックス時や活動時の姿勢や環境を整えメリハリのある生活を提供し、生活リズムを整えます。・ご家族が行っている医療的ケアの継続し、体調の変化、健康管理、異常の早期発見に努めていきます。・発作の記録をとり家族に報告します。・経鼻、胃ろう、気管カニューレの抜去や状態の観察を行います。・人工呼吸器等の充電と管理を行います。					
	運動・感覚	・しっかりと手や足、身体を使える姿勢の保持を検討し実施していき、手や足、身体を使って遊ぶ経験を繰り返していきます。・遊びや職員との関わりを通して興味を広げ、運動ややりとりの発達を促していきます。・朝の手や足等のマッサージを行い感覚への刺激を促していきます。・様々な感触遊びを通して感覚への刺激を促していきます。・遊びの経験を増やしていきます。・自発的に手や足の動きが出るように支援していきます。					
	認知・行動	・好きな遊びに集中して取り組めるように環境を整えていきます。・職員と一緒に友だちと関わり、友だちと遊ぶ事が楽しくなるように支援していきます。・遊びを通して、友だちとのやりとりが出来るように支援していきます。・いろいろな姿勢や遊びを通して、手や足、身体を使う経験を積めるように支援していきます。・いろいろなおもちゃや物品を使って興味の拡大や遊び方の広がりを支援します。・好き、嫌いの選択が出来るように支援していきます。					
	言語コミュニケーション	・視線や表情、発語で伝わる経験が積めるように支援していきます。・声かけやスキンシップを通して不安の軽減に努めていきます。・様々な気持ちを言葉や言葉以外の方法で表現できるように促していきます。・不安や要求を受け止め、安心して過ごせるように支援していきます。・友だちと関わりあえるように環境を設定します。・苦手な事や嫌な事を表現できるように促していきます。・日々の訴えや行動に目を配り変化に気付いて共有していきます。・友だちや職員と関わりを深め安心して楽しく過ごせる場所を提供します。・一人一人に合った、ICTやスイッチ等を使ったコミュニケーションツールを探っていきます。					
	人間関係社会性	・職員やお友だちとゆっくりと触れ合えるように環境を整えていきます。・好きな遊びを見つけ、気持ちを共有し信頼関係を築いていけるように支援していきます。・友だちや職員と楽しい気持ちの共有や共感を感じれるように支援していきます。・友だちと楽しく触れ合えるように職員が仲介していきます。					
家族支援		各家庭との連携の強化（面談や利用時の聞き取り等をとおした情報共有及び保護者の理解と協力の促進） 保護者への情報提供及び相談支援の実施 家族参加型のイベントの実施による保護者同士のつながりの強化及びピア・カウンセリングの場の提供 家族のレスパイトケアのために子どもの積極的な受入れを実施			移行支援		就学について保護者へ情報提供 就学先の見学・教育相談等への参加の促進 相談支援専門員や学校等との情報交換・情報共有（確実で切れ目のない実態や支援の引継ぎ）
地域支援・地域連携		地域の理解・啓発の強化 災害時に安心・安全に避難できる場の設定 関係者・関係機関（学校や相談支援事業所等）との連携強化 同一グループの他事業所が主催するイベントへの参加 愛媛県発達支援通園事業連絡協議会、松山市児童発達支援連絡協議会への参加			職員の質の向上		活動の振り返りと改善に向けた話し合いの実施 ケース・カンファレンスの実施による情報共有と支援についての共通理解 専門性向上のために計画的な研修の実施（新人研修、外部講師の招へい、内部・外部研修への積極的な参加） 虐待防止・身体拘束等、業務継続計画、安全指導に関する研修の実施
主な行事等		季節に応じた行事・遊び（ファミリーデー、雨の日遊び、七夕、夏祭り、水遊び、運動会、敬老の日、ハロウィン、芋ほり、クリスマス、お正月、節分、バレンタイン、ひなまつりなど）、ICT活動（愛媛大学訪問カレッジ）、スノーズレン、保護者参加型のイベント（クリスマス会など）					

事業所名

多機能型事業所コーラル（放課後等デイサービス）

支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

1 日

法人（事業所）理念		法人： 「障害・病気のある子、個性のありあまる子を 地域の宝に」「愛媛だから「できない」状況を作らない！愛媛だからこそ「できる」状況を実現する！」 事業所：「ひとりひとりが輝きつづけられる居場所」									
支援方針		「笑顔あふれる場として」：ひとりひとりの笑顔のために、こどもとご家族がいつでも安心して過ごすことができる「つながり」を作る。 「わたしらしくを大切に」：ひとりひとりの願いや幸せと一緒に見つけ、『やりたいことチャレンジする』『会いたい人に会う』をサポートする。 「わくわくどきどきの体験を」：日常にあふれたたくさんの遊びや少しの背のびをしてチャレンジできる体験の機会を通して、子どもたちの成長をサポートする。 「地域で生きる仲間」：障がいのある人もない人も共に学び育ちあえる社会を作る。									
営業時間		月・火・水・木・金	10 時	0 分	から	18 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		土・祝日・長期休暇	10 時	0 分	から	18 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	・一人ひとりに合った食事形態や姿勢等の支援と食事の介助、胃ろう、経鼻からの注入を行います。また、睡眠、排泄等の日常生活の支援を行います。・リラックス時や活動時の姿勢や環境を整えメリハリのある生活を提供し、生活リズムを整えます。・ご家族が行っている医療的ケアを継続し、体調の変化、健康管理、異常の早期発見に努めていきます。・発作の記録をとり家族に報告します。・経鼻、胃ろう、気管カニューレの抜去や状態の観察を行います。・人工呼吸器等の充電と管理を行います。									
	運動・感覚	・しっかりと手や足、身体を使える姿勢の保持を検討し実施していき、手や足、身体を使って遊ぶ経験を繰り返して行きます。・遊びや職員との関わりを通して興味を広げ、運動ややりとりの発達を促していきます。・朝、手や足等のマッサージを行い感覚への刺激を促していきます。・様々な感触遊びを通して感覚への刺激を促していきます。・遊びの経験を増やしていきます。・自発的に手や足の動きが出るように支援していきます。・装具を付けて楽しく歩けるように支援していきます。また、足底をつけて立つ支援を行います。									
	認知・行動	・好きな遊びに集中して取り組めるように環境を整えていきます。・職員と一緒に友だちと関わり、友だちと遊ぶ事が楽しくなるように支援していきます。・いろいろな姿勢や遊びを通して、手や足、身体を使う経験を積めるように支援していきます。・いろいろなおもちゃや物品を使って興味の拡大や遊び方の広がりを支援します。・遊びを通して、順番を待つ、交代するが出来るようになるように支援していきます。・好き、嫌いを選択し伝えられるように支援していきます。									
	言語コミュニケーション	・視線や表情、発語で伝わる経験が積めるように支援していきます。・声かけやスキンシップを通して不安の軽減に努めていきます。・様々な気持ちを言葉や言葉以外の方法で表現できるように促していきます。・不安や要求を受け止め、安心して過ごせるように支援していきます。・友だちと関わりあえるように環境を設定します。・苦手な事や嫌な事を表現できるように促していきます。・日々の訴えや行動に目を配り変化に気付いて共有していきます。関わりを深め安心して楽しく過ごせる場所を提供します。・一人一人に合った、ICTやスイッチ等を使ってのコミュニケーションツールを探っていきます。									
	人間関係社会性	・職員や友だちとゆっくりと触れ合えるように環境を整えていきます。・好きな遊びを見つけ、気持ちを共有し信頼関係を築いていけるように支援していきます。・友だちや職員と楽しい気持ちの共有や共感を感じれるように支援していきます。・友だちと楽しく触れ合えるように職員が仲介していきます。									
家族支援		各家庭との連携の強化（面談や利用時の聞き取り等とおした情報共有及び保護者の理解と協力の促進） 保護者への情報提供及び相談支援の実施 家族参加型のイベントの実施による保護者同士のつながりの強化及びピア・カウンセリングの場の提供 家族のレスパイトケアのために子どもの積極的な受入れを実施						移行支援		進学及び卒業後の進路等について保護者へ情報提供 進学・就労先（含生活介護）の見学及び教育相談等への参加の促進 相談支援専門員や学校等との情報交換・情報共有（確実で切れ目のない実態や支援の引継ぎ）	
地域支援・地域連携		地域の理解・啓発の強化 災害時に安心・安全に避難できる場の設定 関係者・関係機関（学校や相談支援事業所等）との連携強化 同一グループの他事業所が主催するイベントへの参加 愛媛県発達支援通園事業連絡協議会、松山市放課後等デイサービス事業所連絡協議会への参加						職員の質の向上		活動の振り返りと改善に向けた話合いの実施 ケース・カンファレンスの実施による情報共有と支援についての共通理解 計画的な研修等の実施（新人研修、外部講師の招へい、内部・外部研修への積極的な参加） 虐待防止・身体拘束等、業務継続計画、安全指導に関する研修の実施	
主な行事等		季節に応じた行事・遊び（ファミリーデー、雨の日遊び、七夕、夏祭り、水遊び、運動会、敬老の日、ハロウィン、芋ほり、クリスマス、お正月、節分、バレンタイン、ひなまつりなど）、ICT活動（愛媛大学訪問カレッジ）、スノーズレン、保護者参加型のイベント（クリスマス会など）									

事業所名

多機能型事業所コーラル（居宅訪問型児童発達支援）

支援プログラム

作成日

2025年

2月

1日

法人（事業所）理念		法人： 「障害・病気のある子、個性のありあまる子を 地域の宝に」 「愛媛だから「できない」状況を作らない！愛媛だからこそ「できる」状況を実現する！」 事業所： 「ひとりひとりが輝きつづけられる居場所」					
支援方針		「笑顔あふれる場として」：ひとりひとりの笑顔のために、こどもとご家族がいつでも安心して過ごすことができる「つながり」を作る。 「わたしらしくを大切に」：ひとりひとりの願いや幸せと一緒に見つけ、『やりたいことチャレンジする』『会いたい人に会う』をサポートする。 「わくわくどきどきの体験を」：日常にあふれたたくさんの遊びや少しの背のびをしてチャレンジできる体験の機会を通して、子どもたちの成長をサポートする。 「地域で生きる仲間」：障がいのある人もない人も共に学び育ちあえる社会を作る。					
営業時間		10時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">なし</span>
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康状態の把握を行います。</li> <li>訪問日が定着し、生活リズムが安定するように支援していきます。</li> </ul>					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>感触遊びを通して感覚を刺激し、受け入れられる感覚が増えるように支援していきます。</li> <li>身体を動かす遊びを通して身体を動かす機会を増やしていきます。</li> <li>家族以外の人と散歩や外出できるように支援していきます。</li> <li>活動しやすい姿勢を整え、手や足、身体を使って活動参加を促します。</li> </ul>					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な活動に参加し、興味や関心を増やせるように支援していきます。</li> <li>落ち着いて活動や行動ができるように支援していきます。</li> <li>好き、嫌いを選択出来るように支援していきます。</li> </ul>					
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>声や手や身体を使って、自分の思いが伝わる経験が増えるように支援していきます。</li> <li>苦手な事や嫌な事ことを伝えられるように支援していきます。</li> <li>一人一人に合った、ICTやスイッチ等を使ってのコミュニケーションツールを探っていきます。</li> </ul>					
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に訪問し、信頼関係を築いていきます。</li> <li>家族以外で安心して関わられる人が増えるよう支援していきます。</li> </ul>					
家族支援		各家庭との連携の強化（面談や利用時の聞き取り等をとおした情報共有及び保護者の理解と協力の促進） 保護者への情報提供及び相談支援の実施 家族のレスパイトケアのために子どもの積極的な受入れを実施			移行支援		就学・進学・卒業後の進路について保護者へ情報提供 就学・進学・就労先（含生活介護）の見学・教育相談等への参加の促進 相談支援専門員や学校等との情報交換・情報共有（確実で切れ目のない実態や支援の引継ぎ）
地域支援・地域連携		地域の理解・啓発の強化 災害時に安心・安全に避難できる場の設定 関係者・関係機関（学校や相談支援事業所等）との連携強化 同一グループの他事業所が主催するイベントへの参加 愛媛県発達支援通園事業連絡協議会、松山市児童発達支援連絡協議会、松山市放課後等デイサービス事業所連絡協議会への参加への参加			職員の質の向上		活動の振り返りと改善に向けた話合いの実施 ケース・カンファレンスの実施による情報共有と支援についての共通理解 計画的な研修の実施（新人研修、外部講師の招へい、内部・外部研修への積極的な参加） 虐待防止・身体拘束等、業務継続計画、安全指導に関する研修の実施

主な行事等

季節に応じた行事・遊び（ファミリーデー、雨の日遊び、七夕、夏祭り、水遊び、運動会、敬老の日、ハロウィン、芋ほり、クリスマス、お正月、節分、バレンタイン、ひなまつりなど）、ICT活動（愛媛大学訪問カレッジ）、スノーズレン、保護者参加型のイベント（クリスマス会など）